

第 1 1 章 食肉検査事業

1 と畜検査業務

- 目 的 食用に供するために行う獣畜の処理の適正の確保のために、公衆衛生の見地から必要な規制その他の措置を講じ、市民の健康の保護を図ることを目的とする。
- 内 容 市内と畜場（越谷食肉センター）において、と畜場法に基づきと畜検査及び獣畜の処理の適正の確保に関する監視指導を行う。
- 事業根拠 と畜場法第2条（国、都道府県及び保健所を設置する市の責務）、同法第14条（獣畜のとさつ又は解体の検査）、同法第19条（と畜検査員）

(1) 市内と畜場

(令和3年度)

と畜場番号	と畜場名	開設年	許可頭数（頭/日）	
			大動物	小動物
1	越谷食肉センター	昭和44年	80	1000

(2) 検査頭数の推移

（畜種）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
牛	2,779	3,405	3,191	2,736	2,702
豚	170,412	163,933	183,332	180,789	182,640
計	173,191	167,338	186,523	183,525	185,342

(3) と畜検査に係る精密検査

生体検査や解体後検査等の検査を行った獣畜のうち、必要と認められる場合においては解体された獣畜の一部を持ち出して精密検査を実施した。

年度	項目	微生物検査	病理学検査	理化学検査
平成29年度	頭数	30	25	4
	検体数	211	143	4
	項目数	463	347	44
平成30年度	頭数	34	33	3
	検体数	274	222	3
	項目数	585	405	23
令和元年度	頭数	51	40	1
	検体数	322	208	1
	項目数	814	380	11
令和2年度	頭数	61	11	1
	検体数	306	54	1
	項目数	809	220	11
令和3年度	頭数	47	11	0
	検体数	249	50	0
	項目数	632	171	0

(4) と畜場の衛生管理に係る検査

と畜場の衛生管理状況の確認のため、ふきとり検査又は切除法による検査（枝肉の表面を無菌的に切り取る検査法）を実施し、と畜場設置者に対して結果を踏まえた衛生指導を行った。

検体数

検査項目	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
大腸菌 0157 等	120	120	120	120	120
一般細菌数	290	270	270	140	130
大腸菌群数	290	270	270	30	-
腸内細菌科菌群数※1	-	-	-	110	130
GFAP※2	72	74	72	71	72

厚生労働省通知に基づき、令和2年6月から一般細菌の検査方法をふきとり検査から切除法に変更するとともに、検査対象を大腸菌群数から腸内細菌科菌群数に変更し、切除法により検査を行った。

(※1： 大腸菌の他、乳糖非分解の赤痢菌やサルモネラ菌等を含む。)

(※2： GFAP:Glia Fibrillary Acidic Proteinの略。神経に含まれる蛋白質。)

(5) と畜場職員等への衛生教育

と畜場職員や関係業者に対して衛生管理に係る講習会を実施し、食肉衛生に関する知識の普及啓発に努める。また必要に応じて、食肉衛生に関する情報の提供を行った。

2 認定小規模食鳥処理場の監視指導業務

目的 食鳥処理の事業について公衆衛生の見地から必要な規制その他の措置を講じることにより、食鳥肉等に起因する衛生上の危害の発生を防止し、もって市民の健康の保護を図ることを目的とする。

内容 市内の認定小規模食鳥処理場において、施設の衛生管理に関する監視指導や業者が実施する食鳥肉等の確認に対する技術的な指導及び助言を行うことにより、施設の改善、食品の安全確認及び業者の自主管理を推進する。

事業根拠 食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律第1条の2（国及び都道府県等の責務）、同法第16条（認定小規模食鳥処理場業者に係る食鳥検査の特例）、同法第39条（食鳥検査等を実施する職員）

(1) 市内認定小規模食鳥処理場

(令和 3 年度)

	処理場名	取り扱う食鳥の種類	生鳥取扱いの有無	備考
1	(有)鳥安	あひる	無	
2	(有)鳥敬本店	あひる	無	
3	総合食肉卸マルヒデフーズ	鶏	無	
4	宮内庁埼玉鴨場	あひる	有	
5	(株)鴨澤	あひる	無	
6	(株)鳥清	鶏	無	届出食肉販売業者
7	(有)浜野食鳥	鶏	有	

(2) 認定小規模食鳥処理場等の指導件数

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
認定小規模 食鳥処理場	生鳥取扱施設	8	12	11	7	7
	上記以外	25	30	28	9	15
届出食肉販売業施設（再掲）		5	5	5	2	3

3 発表等実績

- (1) 研修会名：令和3年度埼玉県・さいたま市・川口市・越谷市食肉衛生技術研修会
開催月：令和4年2月（書面開催）
発表内容：「豚の膣及び子宮頸部粘膜に認められた乳頭腫様病変を呈す多発性過誤腫」